

「命言葉」は、みんなの人生の扉を開く

倉敷市立西中学校 松本一郎

令和最初の夏休み、皆さんは、努力したからこそ発見できる自分の、友達の、良いところを見つけられましたか。私は、皆さんの活躍に至るところで見つけることができました。グッドビヘビアチケットも書きました。もっと、もっと書きたいと思っているところです。

さて、二学期は、体育会をはじめ、合唱コンクール、文化発表会、2年生はチャレンジワーク、1・2年生は、新人体育大会など、様々な行事があります。これらの行事をどうやって、盛り上げ、感動あふれる行事にしていくか。

また、3年生は進路の決定に向けて、とても重要な時期を迎えます。2学期末には、私立高校の願書を提出する人もいます。

中学校生活に限らず、皆さんには、これから乗り越えていかなければならない人生の試練が、次々と訪れるかもしれません。そういうときに、どうやって乗り越えるか。

私が尊敬する先生に、森口章先生という人がいらっしゃいます。先生は、人生のマスターキーは、命言葉を使うことだと言われます。命言葉とは、「どうしたん、調子悪いんじゃないねん。無理するなよ。」「大丈夫？ 私たちが代わりにやっておくから。」「しんどそうじゃなあ、手伝うよ」「みんなでやったら、すぐできるじゃろ」「こうやったら、うまくいくよ」と、

すぐ近くにいる人をいたわり、勇気づけ、励まし、一緒に頑張ることができる、そういう言葉を命言葉といいます。皆さんの中には、すでに命言葉を使っている人がたくさんいます。元気のよい挨拶も命言葉です。校歌を一生懸命歌うことも命言葉です。いつでも、だれでも、どこでも命言葉を使うことはできます

命言葉を身に着けて、幸せな人生のドアを、次々と開けてほしいと思います。命言葉は、伝染しますので、二重に三重にどんどん広がって、命言葉がこだまする西中学校にしていきましょう。そのとき、行事は次々に大成功し、学習面も部活動も皆さんの力が大いに発揮されると信じています。